

第7回仙台国際音楽コンクール最高位受賞記念CD発売! (発売日: 2023年2月8日)
 2019年に開催された第7回仙台国際音楽コンクールの最高位受賞記念リサイタルが昨年9月に開催されました。2020年6月開催の予定がコロナの影響で2021年に延期されるも再度延期。3年越しで待望の開催となりました。記念CDはリサイタルで演奏した作品を中心に仙台でレコーディングされたものです。



■シャノン・リー (ヴァイオリン)
 [FOCD9877]
 ~バルトーク、武満徹、エルンスト、リスト、イザイ、ブラームスと多彩な作品~
 バルトーク: ヴァイオリン・ソナタ 第2番 Sz76
 武満 徹: 妖精の距離
 ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100 ほか



■チェ・ヒョンロク(ピアノ)
 [FOCD9878]
 ~繊細で叙情的な表現でショパンとラヴェルの作品~
 ラヴェル: 亡き王女のためのパヴァーヌ
 ラヴェル: 夜のガスパール
 ショパン: 24の前奏曲集 op.28

第8回仙台国際音楽コンクール公式ライブCD発売中!
 2022年に開催された第8回仙台国際音楽コンクールにおけるLIVE録音です。優勝者お二人の感動の演奏をお楽しみ下さい。



■中野りな (ヴァイオリン)
 [FOCD9875]
 モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲 イ長調 K219
 バルトーク: ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112
 (指揮: 広上 淳一、管弦楽: 仙台フィルハーモニー管弦楽団)

♪バリエもされている中野さんの優雅な舞台姿が忘れられません。しなやかなモーツァルトと果敢に攻めたバルトークをCDでもご堪能いただけます。



■ルウオ・ジャチン (ピアノ)
 [FOCD9876]
 モーツァルト: ピアノ協奏曲 八長調 K503
 プロコフィエフ: ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.16
 (指揮: 高関 健、管弦楽: 仙台フィルハーモニー管弦楽団)

♪正確なテクニックによる力強い迫力と豊かな色彩が共存していたプロコフィエフが特に印象に残っています。コンクールでの興奮をもう一度CDで味わうことができます。

定価: 各 2,640円 (税込)
 取り扱い: 全国のCDショップ、日立システムズホール仙台1階事務室、仙台国際音楽コンクール事務局 他
 販売元: 株式会社フォンテック 制作: 公益財団法人仙台市市民文化事業団

第8回仙台国際音楽コンクール優勝記念リサイタル
 5月にピアノ部門優勝のルウオ・ジャチンさん、6月にはヴァイオリン部門優勝の中野りなさんのリサイタルが、東京と仙台で開催されます。

ルウオ・ジャチン ピアノリサイタル

【東京】2023年5月24日(水) 19:00開演
 浜離宮朝日ホール
 【仙台】2023年5月28日(日) 14:00開演
 日立システムズホール仙台 コンサートホール
 演奏曲目
 シューマン: ピアノ・ソナタ 第1番 嬰へ短調 op.11
 スクリャーピン: ピアノ・ソナタ 第7番 op.64 「白ミサ」
 スクリャーピン: ピアノ・ソナタ 第9番 op.68 「黒ミサ」
 フォーレ: ヴァルス・カプリス 第1番 イ長調 op.30
 舟歌 第1番 イ短調 op.26
 即興曲 第2番 へ短調 op.31
 ノクターン 第6番 変二長調 op.63
 ノクターン 第8番 変二長調 op.84-8
 シュルツ=エヴラー: ヨハン・シュトラウスの
 「美しく青きドナウ」によるアラバスク

中野りな ヴァイオリンリサイタル

【東京】2023年6月15日(木) 19:00開演
 浜離宮朝日ホール
 【仙台】2023年6月18日(日) 14:00開演
 日立システムズホール仙台 コンサートホール
 演奏曲目
 モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ イ長調 K305
 ブーランク: ヴァイオリン・ソナタ FP119
 イザイ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ト長調 op.27-5
 R.シュトラウス: ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18
 (ピアノ) 小井土 文哉

♪ヴァイオリンソナタ4曲の迫力あるプログラムです。コンクールではイザイの6番、モーツァルトの協奏曲を演奏された中野さん。ブーランクとR.シュトラウスはいずれも唯一のヴァイオリンソナタで、カッコよくドラマティックな作品です。りなさんの魅力的な演奏を聴かせていただくことを楽しみにしています。

※曲目・曲順等が変更になる場合があります。

★チケット情報 発売日: 2023年2月8日(水) ※全席指定・税込

【東京公演】
 一般: 3,500円 (仙台市市民文化事業団友の会料金 3,000円)
 学生: 1,500円
 セット券: 6,000円 (ルウオ・ジャチン、中野りな 東京公演セット)

■プレイガイド
 仙台市市民文化事業団総務課 ☎022-727-1875 (平日9:30~17:00)
 仙台市市民文化事業団 (日立システムズホール仙台・仙台銀行ホール イズミティ21 臨時事務所)
 チケットぴあ
 ローソンチケット
 イープラス
 [東京のみ] 朝日ホール・チケットセンター☎03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)
 [仙台のみ] 河北チケットセンター ☎022-211-1189 (平日10:00~14:00)
 藤崎/仙台三越/カワイ仙台

【仙台公演】
 一般: 3,000円 (仙台市市民文化事業団友の会料金 2,500円)
 シルバー: 2,700円 (65歳以上) / 学生: 1,000円
 セット券: 4,500円 (ルウオ・ジャチン、中野りな 仙台公演セット)

発行: 第8回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア

[コンクール公式Twitter] @sendai_simc [ボランティアブログTwitter] @simc_volblog

問合せ: 仙台市市民文化事業団音楽振興課(仙台国際音楽コンクール事務局) Tel: 022-727-1872 / e-mail: info@simc.jp / URL: https://simc.jp

SENDAI INTERNATIONAL MUSIC COMPETITION for Violin & Piano



仙台国際音楽コンクールニュース

コンチェルト Concerto



Vol.8-8

(2023.1.26 第8回コンクール関連 第8号)

インタビュー 友滝真由さん

第7回仙台国際音楽コンクール ヴァイオリン部門第3位(1位なし)

3歳からヴァイオリンを始められたきっかけや当時の思い出について。
 私の母が昔からクラシックが好きで、子供にも何か習わせたいと思っていたようです。近所のヴァイオリン教室のチラシがポストに入っていたのがきっかけです。母も少しピアノが弾けたので、一緒に音楽ができたらいいなと思っていたようです。両親は会社員と主婦で音楽関係というわけではありませんでした。

10歳から弦楽教室(天理教育音楽研究会)で学ばれたそうですね。
 3歳から習っていた先生が出産を機に音楽教師をやめることになって、同研究会を紹介され、ここで相原瞳先生に出会いました。ドイツに留学されていて帰ってこられたばかりのすごく若い先生でしたが、私が留学するまで教えて頂きました。2020年10月の仙台フィル定期で演奏したバルトーク第2番のコンチェルトも、先生に直前に指導を受けてから仙台入りするなど、未だにお世話になっています。

日本国内の音楽大学ではなく、ドイツに留学された理由についてお聞かせください。
 中学2年生の時、徳島文理大学に毎年ウィーン音楽大学から先生が呼ばれてマスタークラスが開催されて、学生音楽コンクールの直前だったので指導頂きました。その時先生と知り合いになって、次の夏にウィーンで講習会をやるから来たらと声を掛けて頂いて、初めてウィーンに2週間ほど滞在しました。聴衆や土地の空気感が全然違うと感じました。その頃からぼんやりと日本で勉強するよりも海外の方が楽しい音楽ができそうだなと感じていました。相原先生はドイツのケルンで勉強されていたので、行くとしたらドイツと思っていました。高校3年生の時に、北ドイツの2都市、ロストックとハンブルクのマスタークラスに参加して、今もお世話になっているベルリン芸術大学のラティツァ・ホンダ=ローゼンベルク先生と知り合い、先生からの勧めもあってドイツ留学を決意しました。2人の先生との出会いが私の音楽人生を導いてくれたのだと思います。

ベルリン芸術大学ではどのように過ごされていますか。
 留学当初はドイツ語をほとんど話せない状況でした。現地で集中コースに朝8時から昼の2時まで何か月か通い、ようやく少しずつ話せるようになりました。話せるなど実感ができたのは、留学を始めて3年が経ってからです。
 ベルリン芸術大学に留学して8年になります。今は修士課程の最後の方なので、楽器を演奏することが中心で先生に実技のレッスンをしてもらって室内楽をちょっとやってという感じです。
 現在は2022年6月から始まったベルリン・フィルハーモニー・カラヤンアカデミーの活動がメインです。アカデミーの間はヴァイオリンは8名、各管楽器と打楽器1~2名、チェロ、ヴィオラ各3名くらいでアカデミー生だけのコンサートもありますが、ベルリン・フィルの公演で弾かせてもらえるのがアカデミーの主な研修になります。出番のある週は、火曜日から土曜日まで毎日予定が入ります。リハーサル空き時間等にフィルハーモニーホールでの練習部屋で練習したりしています。実際のステージの経験もしました。はじめは緊張して、ドキドキの状況で参加しました。コンサートの時にたくさんのお客様に演奏を届けられることと団員の皆さんが世界で1番のオーケストラであるとのプライドを持ち、

舞台上で発散されるエネルギーがすごいと感じられるところにやりがいを感じます。

前回の第7回仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門の3位に入賞されましたが、出場されたきっかけやコンクールの思い出についてお聞かせください。

私は第6回のコンクールに出場し、予選で落ちてしまった後にチャレンジャーズ・ライブで弾かせて頂き、ホストファミリーの方にも大変お世話になりました。その時から「また仙台に帰ってきたいなあ」と思っていました。それで第7回も挑戦しました。
 第6回るときは、大きな国際コンクールに向けてどう準備するべきか分かっていませんでした。第7回の際は要項が出た時点からすぐに曲を決めました。私は譜読みに時間がかかるタイプで、ぱっと弾けないので時間をかけて準備しました。自分がどこまで自分を追い込めるのかはコンクールを受けないと分からないところだと思います。コンクールにチャレンジすることで成長できることが分かったのは大きな収穫でした。

第7回コンクールからセミファイナルでコンサートマスターとしての課題が課せられたがいかがでしたか。
 当時の課題曲R・シュトラウスの「ツァラトウストラはこう語った」はとても難しい曲です。大学オケでコンマスの経験はありましたが、大きなソロのある曲はやったことがありませんでした。コンクールでは指定の部分だけの演奏なので、前からの音楽の流れがなく、どうプレゼンテーションしたら良いのが悩みました。「ソリストティックに演奏すべきなのか」「オケのコンマスとしての仕事としてやるべきなのか」結局最後までその加減がわからないまま演奏してしまいました。当時プロオケの中で演奏したことがなかったので、仙台フィルの一員として一緒に演奏できたのは、とてもいい経験になったと思います。

共演された仙台フィルの印象についてお聞かせください。
 仙台フィルはコンクールの共演の時から寄り添ってくれ、出場者がどう弾きたいのかをすごくアンテナを張って弾いてくださっているのが伝わってきました。また、すごく温かい感じがします。2020年10月の定期でも「おかえりなさい」といった感じで接して下さったのが印象的でした。

今後の活動予定や目標を教えてください。
 ひとまずのところは、カラヤンアカデミーが2年間あり、スタートしたところです。すごく忙しいのですが、ここできっちり勉強して、ベルリン・フィルの公演やアカデミーでのコンサートで、まず体調を崩さないようにしっかりどのコンサートも良いクオリティが出せるようにしたいと思います。目下のところはこれが精一杯です(笑)。

◇取材日 2022年9月28日(水)

～仙台フィルハーモニー管弦楽団 スペシャル対談～ コンサートマスター 神谷未穂さん、西本幸弘さん インタビュー

◇取材日 2022年9月28



神谷未穂さん

2010年9月 コンサートマスター就任



西本幸弘さん

2012年10月 コンサートマスター就任

<これまでのコンクール担当表は以下の通り（ヴァイオリン予選は除く）>

第5回（2013年）	産休中	ヴァイオリン部門&ピアノ部門
第6回（2016年）	ヴァイオリン部門	ピアノ部門
第7回（2019年）	ピアノ部門	ヴァイオリン部門
第8回（2022年）	ヴァイオリン部門	ピアノ部門

仙台フィルに入団されて10年ほど過ぎましたが、コンサートマスターとして大事にしていることは何ですか？

神谷：「健康第一」。コンサートマスターが元気でないとオーケストラ全体が元気にならないからです。健康にはすごく気をつけて、睡眠時間と食事のバランスに注意してヨガなどの運動をしています。コロナ禍で逆に時間が取れることを前向きに考え、より健康に気をつけるようになりました。

西本：自分を安定させてコンサートマスターの席に座ることを大事にしています。例えば、チューニング時に全員と目を合わせて表情確認を毎回行い、オーケストラ全員と自分自身の状態を確認しています。健康維持に気をつけて山登りもしています。

神谷さんは千葉交響楽団、西本さんは九州交響楽団でもコンサートマスターとして活躍されていますが、仙台フィルとの違いをお聞かせください。

神谷：千葉交響楽団は、団員の年齢が若く、小人数の編成で音に違いがあります。仙台フィルは、平均年齢が高く、これから世代交代の時期に入り、いろいろなパートでオーディションを控えています。

西本：僕が仙台フィルのヴァイオリンで下から2番目の年齢なので（※取材日現在）、確かに平均年齢が高いです。仙台フィルは、団員メンバーのやりたいことのベクトルがはっきりしていて起動力を感じます。九州交響楽団は、指揮者に一極集中するとか、セクションでまとまるとか、どういうチームをつくるのかとか、スタンスがはっきりしていて、オーケストラのスタンダードの曲を演奏する時は、ずっしりした音を感じます。共通して言えることは、仙台も九州も個性が強いオーケストラだということです。

神谷：仙台フィルは受け身でなく、自分たちでやりたいことが強いオーケストラだと思います。また、平均年齢が高いわりに元気なオーケストラだと思います。

これまでのコンクールで印象に残っている出場者、入賞者は？

神谷：中野りなさん（第8回ヴァイオリン部門優勝）は安定感のある演奏、かつバレットの難しい作品のスコア（総譜）を読み込んでいて、同じメロディを奏でるオーケストラのメンバーと目で確認しているなどオーケストラパートまで熟知されていました。姿勢も良く立ち姿が良かったです。チェ・ヒョンロクさん（第7回ピアノ部門優勝）は、チャイコフスキーの協奏曲が素晴らしかったです。人柄がコンクールに出ますね。仙台フィルは、挨拶を大切にしている、挨拶がしっかりできているかどうかはとても大事なことだと思います。次に共演するオーケストラをリスペクトしてくれる方やオーケストラを味方にできる方が強いと思います。オーケストラの心を掴んだ方が入賞されています。

西本：北端祥人さん（第6回ピアノ部門第3位）はコンクール時に一緒にさせていただきましたが、演奏が素晴らしくお人柄も良く、そのきっかけで、私のリサイタルシリーズでも共演させていただきました。キム・ボムソリさん（韓国、第5回ヴァイオリン部門第5位）はコンクールのご縁でその後「仙台クラシックフェスティバル」のヴァイオリン・デュオで共演させていただきました。コンクールを通じてその後の出会いを強く感じます。

コンクール指揮者のバスカル・ヴェロさん、広上淳一さん、高関健さんとの思い出、エピソードをお聞かせください。

神谷：共通していることは、出場者の緊張をほぐして場をなごませることがとても上手ということです。出場者とのリハーサルでは短時間で音楽的なことをどんどん決めていかなければならないのですが、広上さん（第8回ヴァイオリン部門指揮者）はコンサートマスターにも「これはどうだろうか？」と相談してくださり、具体的なやり取りが出来たことがとても良かったです。

西本：広上さんは、「全体像をどういう風にソリストとオーケストラで音楽をつくるのか」、高関さん（第8回ピアノ部門指揮者、仙台フィルレジデント・コンダクター）は、「どうやってオーケストラがまとまってソリストを支えるか」、第5・6回を指揮したヴェロさん（仙台フィル桂冠指揮者）は、「コンクールというよりはコンサートだと思ってやりなさい」という印象があります。それぞれお三方の作り方で、コンクールの風景・雰囲気が変わっていきました。

ヴァイオリン部門とピアノ部門とでキャラクターの違いや特徴はありますか？

神谷：ピアノは鍵盤に触れただけで音が出るので、早く音が来る感じがします。ヴァイオリンの方は少しためがあって音が出るので、オーケストラはピアノの時のの方が合わせるのが難しい印象です。

西本：コンサートマスターはヴァイオリンなので、ピアノに対する合わせ方により気を遣います。音の出るタイミングは異なりますが、アーティストとして見るならば同じことだと思います。オーケストラを味方にして、ちゃんとオーケストラの音を聴いてくれる方が上位にいきます。協奏曲ですからね。

第7回のコンクールから、ヴァイオリン部門セミファイナルで、コンサートマスターとしての課題が課せられました。お隣に出場者を迎えられましたが、印象的な出場者は？コンサートマスターとして将来有望という出場者はいましたか？

西本：第7回で担当し、コンマス審査とはいえ、オーケストラに自分の空気感を出して団員に自分のメッセージをキャッチしてもらえる方は、隣で弾いていてやり易かったです。ソロの部分はコンチェルトと同じですが、よりスコアの読み方、アンサンブルをどうとるのかを審査されていると思っているので興味深かったです。もしかするとこの経験でコンサートマスターは楽しいと目指す方が増えるかもしれません。イタリア出身のアンドレア・オビソさん（第7回セミファイナリスト、聴衆賞）は、コンクール後の2020年1月にローマの名門サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団のコンサートマスターに就任しています。

第5回はコンサートマスター就任後間もない西本さんが一人でコンクールを担われました。ご苦労や思い出、エピソードをお話してください。

西本：全くコンクールでの経験がなかったので、前情報で皆さんからアドバイスをいただきつつ心の準備をし、体を整えてコンクールに臨みました。コンクールを通じて沢山のヴァイオリンとピアノのコンチェルトを演奏することで、仙台フィルのコンマスとしての洗礼を受けて、良いスタートダッシュが切れたと思います。僕個人としてはとても良いチャンスをもたらしたという感じです。トータルで最初から最後まで出場者全員を見守ることが嬉しかったです。

神谷：私は会場に聴きにきて、演奏ではフォロー出来ないで差し入れをした位です。西本さんは一人で本当によくしてくださったなと思いました。

西本：ある意味、当時の記憶は、ほとんど残っていない感じで、目の前のことに必死でした。

これまでご自身が受けたコンクールと仙台国際音楽コンクールとの違いは？

神谷：仙台国際音楽コンクールは出場者へのフォローが大変良いと思います。コンクール後に仙台フィルの演奏会にソリストとして共演する機会が多いのですが、他のコンクールでは考えられません。

西本：ホスピタリティが素晴らしく、練習室からの移動案内や演奏順などのフォロー等出場者へのサポートが良いと思います。

神谷：今回はコロナの影響でホームステイは中止になりましたが、ホストファミリーは、入賞者の東京での公演に聴きにいかれたり、コンクールが終了しても本当の家族の様に温かく応援してくださる良い制度だと思います。

西本：第5回のコンクールの時に、交流ホールでの色々なイベントが出演者の緊張を和ませていた風景が記憶に残っています。出場者とオーケストラメンバーは、一か月先には、音楽仲間になって一緒に演奏しているかも知れないし、音楽家同士の交流の場にもなっていました。

神谷：チャレンジャーズ・ライブでは、コンクールで実力を発揮出来なかった出場者がコンサートとして伸び伸びと演奏している姿が見受けられ、すごく良いと思います。この場で良い演奏を披露して下さった出場者は後に演奏家として活躍されています。

これから仙台のコンクールを受けようと考えている若い音楽家へのアドバイスやメッセージを。

神谷：自分のパートの演奏をこなす事に必死で、他のパートを勉強していない方がいますが、このコンクールはスコアまでしっかり勉強すべきです。

西本：事前に仙台フィルの演奏（YouTube等）を観て、聴いて、どんなオーケストラか感じてほしいです。仙台フィルは、こんなオーケストラなんだと、コンクールに向けて一つ引き出しが増えるかも知れません。

神谷：ヴァイオリン部門セミファイナルのコンサートマスター審査は、姿勢がとても大切です。必死になって猫背になってしまうと管楽器から見えなくなってしまうからです。

来年度は、高関さんを常任指揮者に迎え、仙台フィルは新たな段階に進まれますが、抱負をお聞かせください。

神谷：私にとって高関さんは「尊敬の一言」で、楽譜の読みに関しては世界一だと思っています。質問に対しすぐに答えが返ってきますので、いろいろな勉強をさせていただき沢山の刺激を受けたいと思います。

西本：マエストロについていだけでは無く、我々の演奏に自由を与えてくださり、団員と一緒に音楽を考えていただける方だと思っています。これまで仙台フィルの積み上げてきた伝統を生かしながら、一緒に音楽作りができる関係でありたいと思っています。



取材を終えて

私は第7回のコンクールからボランティアに参加し、第7回・8回ともにセミファイナル以降ガラコンサートまでコンクール会場で聴いています。神谷さんは、前向きでプラス思考のところが最近より輝いておられる理由かなと思いました。西本さんは、指揮者の求めている音楽をオーケストラの皆さんと一緒に、より良い演奏を目指しておられます。仙台フィルのコンサートマスターが演奏会で二人揃うのはとてもレアなケースで、インタビューでできたことにより益々神谷さん西本さんのファンになりました。これからもコンクール及び仙台フィルを応援してまいります。（広報宣伝サポートボランティア A.S）